授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
日常生活援助技術Ⅱ	1年次	通年	1	30	有

科目責任者	四ノ宮真寿美
授業概要	人間が生命を維持するのに欠かせない食事と栄養摂取および排泄の意義・基礎知識を理解し、適切な援助方法について学ぶ。
目標	1. 食事・栄養の意義と基礎知識が理解できる。 2. 適切な食事介助の方法と留意点が理解できる。 3. 非経口栄養摂取の援助方法と留意点、合併症について理解できる。 4. 口腔ケアの援助方法と留意点が理解できる。 5. 排泄の意義と基礎知識が理解できる。 6. 対象に応じた排泄の援助方法が理解できる。 7. 排泄の援助における看護師としての倫理的配慮について考えられる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	食事に関するメカニズム 食事・栄養の意義（生理的・心理的・社会的）	四ノ宮	講義
2	栄養状態および摂食能力、食欲や食に対する認識の アセスメント	四ノ宮	講義
3	医療施設で提供される食事の種類と形態 食事摂取の介助：援助の基礎知識	四ノ宮	講義
4	食事摂取の介助：援助の実際 摂食・嚥下訓練	四ノ宮	講義・演習
5	口腔ケア	四ノ宮	講義・演習
6	非経口的栄養摂取の介助　①経管栄養法	四ノ宮	講義・演習
7			
8	非経口的栄養摂取の介助　②中心静脈栄養法 食事まとめ	四ノ宮	講義
9	排尿・排便のメカニズム、ニーズのアセスメント 排尿・排便障害の種類	四ノ宮	講義
10	排尿・排便の援助方法（トイレにおける排泄介助、ポータブルトイレでの排泄介助）	四ノ宮	講義・演習
11	排尿・排便の援助方法 （床上排泄援助・尿便器の選択）	四ノ宮	講義・演習
12	排尿・排便の援助方法 （おむつによる排泄援助）	四ノ宮	講義・演習
13	導尿（一時的導尿、持続的導尿）	四ノ宮	講義・演習
14	排便を促す援助（浣腸・摘便）	四ノ宮	講義・演習
15	排泄の意義 排泄まとめ	四ノ宮	講義・演習

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野１　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　医学書院 看護がみえる　vol.1　基礎看護技術　MEDIC　MEDIA 看護がみえる　vol.2　臨床看護技術　MEDIC　MEDIA
参考書	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　メディカ出版 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　第2版　医学書院
評価方法	試験（100%）